CLIPPEDIMAGE= JP360010756A

PAT-NO: JP360010756A

DOCUMENT IDENTIFIER: JP 60010756 A

TITLE: MANUFACTURE OF BEAM-LEAD TYPE SEMICONDUCTOR DEVICE

PUBN-DATE: January 19, 1985

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

NAWAMAKI, AKIO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

NEC CORP

COUNTRY

 $A \setminus N$ 

APPL-NO: JP58119143

APPL-DATE: June 30, 1983

INT-CL (IPC): H01L021/92

US-CL-CURRENT: 29/827,438/464 ,438/FOR.380

### ABSTRACT:

PURPOSE: To improve the reliability and production yield remarkably by a method wherein, when pellets are separated from a flat plate by a pellet adsorbing jig, any wax adhering to pellets is melted by heating to be removed using hot organic solvent in a heated receiver.

CONSTITUTION: A semiconductor wafer 1 whereon specified beam-lead type element is formed is turned over to be bonded on a flat plate 4 made of quartz etc. using wax. Firstly resist pattern is formed on the backside of the wafer 1 and the wafer 1 is selectively etched by mixed acid solution utilizing the resist pattern as a mask to separate the wafer 1 into pellets 5.

secondly the quartz plate 4 is heated by a hot-plate 7 to melt the wax 1 and the pellets 5 are separated from the quartz plate 4 using a pellet adsorbing jig 6. Finally was 13 adhering to the wiring side and backside of pellets 15 may be removed by means of spraying organic solvent preliminarily heated by a neater 11 with a cleaning remeiver 15 giast heater 17 and then the pellets 5 are arrayed on an arraying plate 22.

COPYRIGHT: (C) 1985, JPO& Japio

## 19 日本国特許庁 (JP)

兵特許出願公開

# 12 公開特許公報: 14

昭60-10756

5) Int. Cl.\* H 01 L 21 92 識別記号

- 庁内整理番号 - 7638 - 5 F 43公開 昭和60年(1985)1月19日

発明の数 1 審査請求 未請求

(全 3 頁)

S4ビームリート型半導体装置の装造方法

額 昭58-119143

須特 公出

類 昭58(1983)6月30日

12発 明 者 縄巻草雄

東京都港区芝五丁目33番)号日。 本電気株式会社内

五出一願一人、日本電気株式会社

東京都港区芝5丁目33番1号。

瓦代 理 人 弃理士 内原晋

8B AH 15

1. 発明の名称

ビームリード型半週体装貨の製造方法

### 2. 特許訴求の戦略

ピームリード型半導体ま子の形成されたウェハーを裏面してワックスで平板に貼り付ける工程と、前配ウェハーを裏面から選択的にエッテング除去してペレットに分離する工程と、前配ワックスを活しペレット吸射用治具にて前配平板から前配ペレットを分限する工程と、高配ペレットに付着しているワックスを、暖められた洗浄用受け皿内にて、暖めた有機高調によってワックスを除去する工程とを含むことを特徴とするピームリード型半導体契例の製造方法。

#### 3. 美別の30年をおり

本発明はビースリードが生み体を取の製造方法 は独立る。 従来ビーエリード製半導体操能の製造方法は、 所架のビーエリード製半導体架子の形成された半 導体落板の上面にリックスを創布し石英板と比り 合せし後、製半導体状板の製面にレジストにてパ ターンを形成し肌能能で半薄体ウェバーを選択的 にエッチング除去してペレット 1 何ずつ分減して両配列する内に100~ 200℃の風機のホットブレート上でワックスを示 しペレット 8 税用的具にてペレットと石英板とを 分散後、半導体ペレットに付着リックスを示め加 熱ヒーターで有機器制を静めた有機器制をスプレー カンで3~5分間軟付けて除去し郷の配列板に 並べていた。

しかし上記荷楽のペレットハンドリングデルド は、以下に述べるような欠点があった。

、ペレットハンドリングする場合にペレットと石 裏質とがワックスによって貼り合わさっておりと のファクスを100~200℃の個件のボットブレ ート上で石裏板と輝めてワックスを描かし、ペレ ット豊かりの月にてペレットと石裏板とケの間は、

- 2 -

半導体ペレットの配勢面及び異面に付着している ワックスを、50~100℃の就度輸便の無熱と ーターにて予め有機用熱を認めスプレーガンで吹 付時30~35℃範囲の有機層割を3~5秒間吹 付けてワックスを除去し期の配列板に並べている がペレットサイズによってワックス洗浄に時間が かかりまたワックスが完全に取りまれたい場合も あった。

ベレットの前制能及び多能にワックスが残っていると、ベレットの信頼性及び歩留りを無くし又ペレットサイズによってベレットハンドリングの洗浄時間を長くしたりするため作業能率を懸くする欠点を持っていた。

本養明は上記的点を除去し半導体装飾の保険性 及び動造事業とを大幅に向上させることのできる 半選体装飾の製造方法を提供するものである。

本発明の特徴は、ビームリード製半導体第子の 形成されたウェハーを炎返してワックスで平板に 貼り付けする工程と、前記ウェハーを展置から選 択的にエッチング除去してペレットに分割する工

**-3-**

覚する。

次には3回に示すようにペレット15の配線師 及び製師に付加しているワックス13を50~ 100で減度範囲の加熱ヒーター21によって予 め有機器剤と、洗浄用は肌186加熱ヒーター 19によって50~100での減度説明で加熱し、 スプレーガン20で吹付町35~40で説明の有 機器剤を3~4秒間吹付けてワックスを除去した (54回) 後、別の配列級22上にペレット15を配列する。

上記のように本条明万法によればペレットの配 観前及び小師に付押しているワックスを予め殴め た有機資酬と低利用受け助も切めることにより有 機管測を低和でペレットに吹付ける事が出来るた め、短時間でワックスが除去でき、しかもペレットにワックスが残ることなく、劉道歩領り及び親 品の信頼性が良くなり、しかもペレットサイズに 観保なく短時間でペレットハンドリングが可能に なる。

4. 図前の酵車な肥明

對と、加熱によりファクスをかしてレット原祭用 相非にて自動平型からベレットを分類する工りと、 的記さレットにいかしているフックスを、原めら れた受け間内にて、即めた有機前割にて除去する 工程と、自動ペレットを配列する工程とを含む準 排体報をの製作力法にある。

以下更能例に乗づき的面を対例して本条明を結 動に初望する。

まず他1以にサイように、私知のビームリード 動気子の形成された生態体ウェバー1を、前がビ ームリード2が下になるように裏選して、例えば スカイコートなどのワックス3を用いて石製など の子数4に貼り付ける。

かけ削削でははりょハー1の延削にレジストパターンを単成し、はパターンをマスクにして供施 数を用いて数りょハーを選択的にエッチング除去 し、銀2分に示すようにペレット5に分離する。 次に100~200でのボットブレート7の上で 石英板4を眺めてワックス3を終かしペレット度 新用船具6を用いてペレット5を石英板4から分

第1 図乃至第4 図は本発明の実施例を説明する 為の断面図である。

1 ……半導作ウェハー、2 . 1 2 ……ビーエリード、3 . 1 3 ……ワックス、4 ……石葵板、5 . 1 5 ……ベレート、6 . 1 6 ……ベレット吸着用始具、7 ……ホットブレート、1 8 ……洗剤用受け皿、1 9 ……洗剤用受け皿の加熱ヒーター、2 0 ……スプレーガン、2 1 …… 有機商制の加熱ヒーター、2 2 …… ガラス板である。

代理人 养理士 内 原



